

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP1, D-STEP1  
G-STEP1, H-STEP1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・身近な自然を観察することを通して、季節ごとの違いや特徴を見つける。
- ・身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫する。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・図書資料の中から、自分がつくりたいおもちゃを見つけ、必要な材料やつくり方を調べる。
- ・調べた情報を「おもちゃずかん」にまとめる。

単元における学習の展開（全 21 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (9時間)	○こういであきをさがそう ○こうえんであきをさがそう ○はっぱやみであそぼう
第2次 (9時間)	○秋のことを伝えよう ・遊びや観察を通して、気づいたことを発表する。 ○あきのおもちゃをつくろう（☆） ・秋のおもちゃを調べる。 ・おもちゃずかんをつくる。 ・おもちゃをつくる。（本時）
第3次 (3時間)	○いっしょにあそぼう ・学年で交流する。

本時のねらい

調べたことをもとに、どんぐりやまつぼっくりなどさまざまな自然物を比べたり試したりしながらおもちゃをつくる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時までを振り返り、本時のめあてを確認する。 ・自分が調べたおもちゃ(どんぐりごま・マカス・コースターなど)と必要な材料を確認する。	・子どもたち自身が作成している、あきのおもちゃずかんに注目させる。
展開 (35分)	2. 秋の自然物を使って、おもちゃをつくる。 ・作るときに注意点を確認する。 ・必要な材料を選び取る。  3. 交流する。 ・おもちゃを作っている中で、困っていることを伝え、アドバイスをもらう。 例) ★テープが上手く貼れない→テープを横向きではなく、縦向きにすると貼りやすい。 ★つまようじが実につかない→ボンドをつける量に気をつける。	・隣のクラスと遊びの交流をすることを意識させる。 ・いつでも作り方や材料を確認できるように、図書資料を各児童分用意する。
まとめ (5分)	4. 振り返る。 ・参考になったアドバイスを発表する。	・アドバイスをしてもらってよかったことや、次時に取り組むことを考えさせる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・図書資料を活用し、自分たちの「あきのおもちゃずかん」を作成し、それをもとに6年生や学年で最後に交流をおこなうということ伝え、実際におもちゃ作りに取り組んだ。誰と遊ぶか相手意識をもたせることで、子どもたちから「丈夫につくらないといけな。」など意見がでた。
- ・子どもたちがおもちゃを作る際、多くの困り感がでることは予想できたので、作り始める前に、困ったときにはどうするかをみんなで確認した。すぐに教員に頼るのではなく、子どもたち同士で話し合い、解決していく手立てになったと感じている。
- ・どんぐりやまつぼっくりなどの自然物を用意する際には、形や大きさなどさまざまな物を用意し、子どもたちの制作意欲を高めるようにした。



図書資料のつくり方を見ながらおもちゃを作成。友だちからのアドバイスも参考にしていました。